



th Year

(株)モフィリアは
2010年12月に
ソニーから独立した
静脈認証ビジネスを行なう
ベンチャー企業です



Ultra Seven



th Year



Ultra Seven

静脈認証は現時点
本人確認には
最も優れた技術の一つ
と言えます

<Vision>

Happy Life Bringer

指をかざすだけで
瞬時に正しく本人が特定される世界の実現



安全、快適

全ての人がハッピーになる

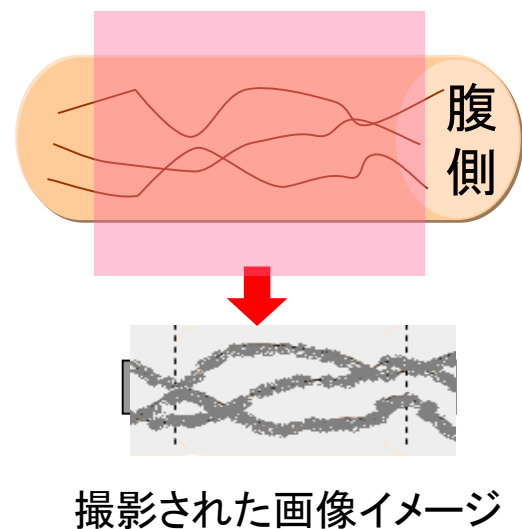
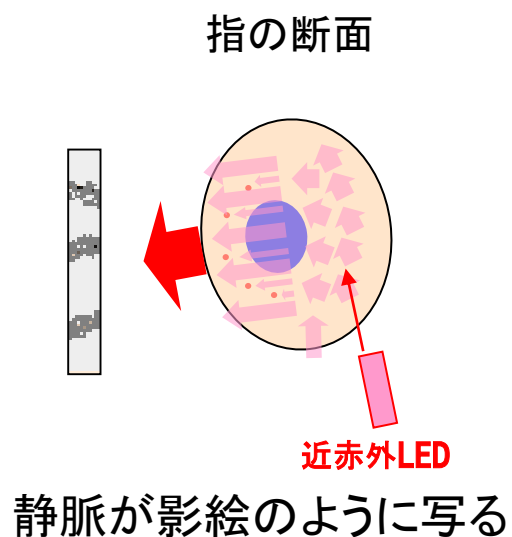
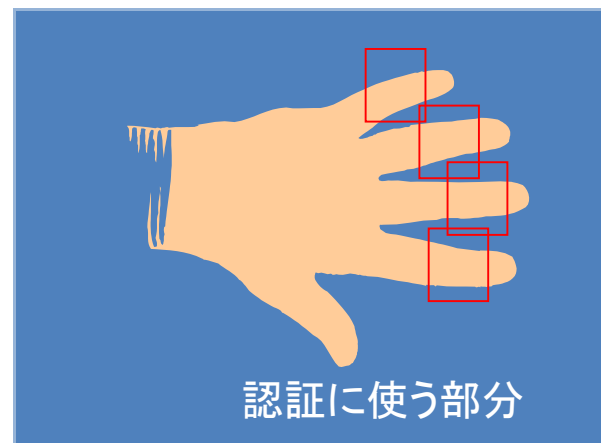


“ Happy-life Bringer “

モフィリアの技術・製品・サービスによって
安心・安全・快適な環境を
世界中のお客様にお届けし
より良い社会の実現に向けて貢献する

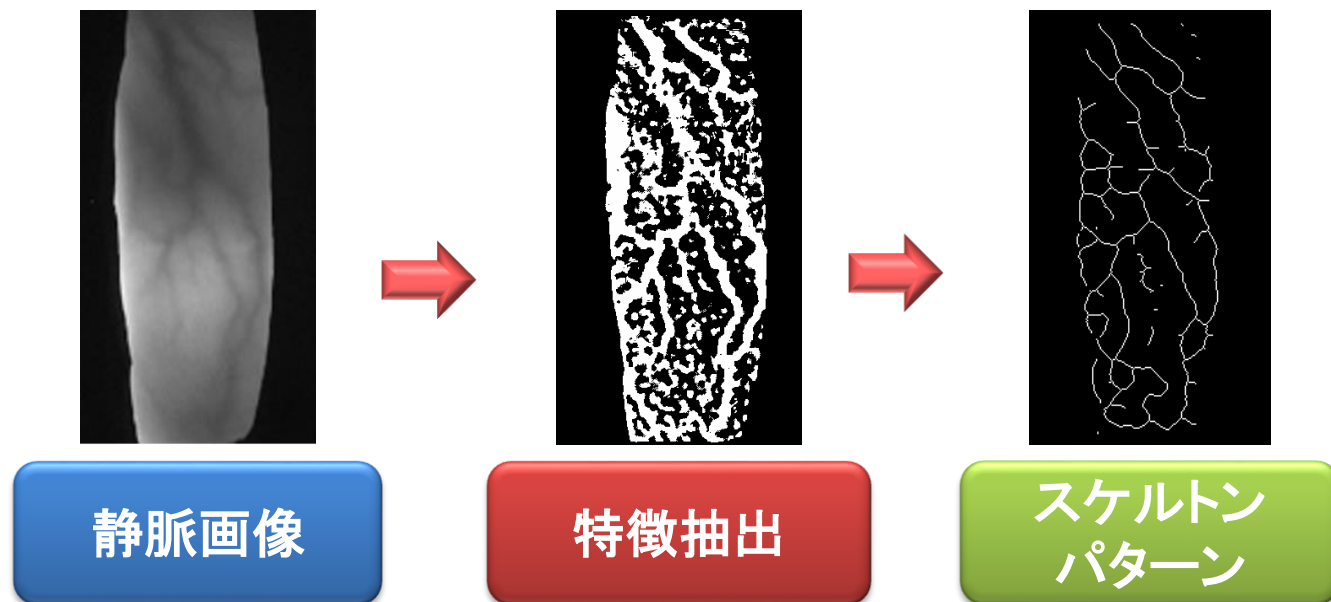
指静脈撮像の原理

- 認証に使う指の撮影エリア
 - 手の**親指以外**の指の**腹側**
 - 縦：第一から二関節付近
- 照明
 - 近赤外線 LED照射
 - → 静脈の還元ヘモグロビンが吸収



血流パターン抽出アルゴリズム

- 中心線検出方式 : 気候、体調の影響を受けにくい
- 直線パターン認証 : 回転、拡大歪みに強い
- 低コントラスト耐性 : 照明コントロール不要
- ノイズ耐性強化 : 汎用CMOSセンサーでの認証実現



モフィリア技術が安心・安全な環境を実現

mofiria

ログインするのに四苦八苦



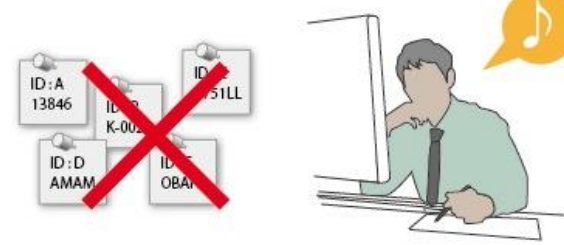
本人確認できないために起こるさまざまな問題



いつも持ち歩いている 膨大なカードや鍵



パスワード呪縛からの開放



User Friendly

意識不明の人でも本人確認・応急処置



Life Friendly

省資源・節電



Earth Friendly

URL <http://www.mofiria.com>

素晴らしい種を 社外で満開の花にする！

- 1) 静脈認証は、生体認証技術の中で最も素性が良く、**特許も日本 (esp. ソニー/mofiria、日立、富士通) がほぼ独占。**
- 2) これからの高齢化、ECO, クラウドといった環境変化の流れの中で、社会インフラとしてグローバルに普及するポテンシャルは高い。
- 3) 独自技術mofiriaは、モバイル志向で、先行する日立や富士通より simple & easyだが、セキュリティ市場は、ソニーがソリューションビジネスとしてトータルにマネージするには強くない領域。
- 4) Exitを断行し、ニュートラルな立場として、**世界の事業パートナーやインテグレイターと組みながら**、世界トップクラスのBiometrics Solution Providerを目指す → **2010.12に(株)モフィリア創業**

(大企業SONYから)

社外に出るデメリット (ベンチャーのチャレンジ)

- ① No more Sony Brand
ほとんどない知名度
- ② No more Sony infra.
固定資産の直接負担
- ③ キャッシュフローとの毎日の直面

社外に出るメリット : SOFA (ベンチャーの強み)

- ① Small & Speedy 小回り・迅速
 - ・即断即決
 - ・持たない強み: SI、生産、販売は その道の「最適パートナー」と組む
- ② Open 大企業SONYのしがらみからの解放
 - ・是々非々で 世界中どこでも。(SONYのライバル会社との協業の可能性)
 - ・グローバルパートナーとの相互不可侵・信頼補完関係
- ③ Flexible 機動性
 - ・市場対応の柔軟性
 - ・資金調達の融通性
- ④ Accountable 社員全員がOwner意識
 - ・責任の所在が明確 ← 自分達で最終意思決定ができる

1) 小兵(軽快な組織)

- 抜群の機動性、小回り

2) 独自技術 **mofiria** に集中

3) 世界中の強力パートナーとの「チームアクション」

【持たない強み】

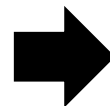
- アプリ開発
- システムインテグレーション
- 資材調達・生産
- 営業・マーケティング



我々の静脈認証mofiriaは、
複雑なIT技術や、
使いこなすための面倒な操作や記憶など
必要なく、
簡単に成りすましを撲滅できるので、
新興国のインフラ確立にも向いています

モフィリアの重点戦略 (分野/エリア)

	2016		
	日本	欧米 先進国	新興国
金融	△	—	◎
ヘルス ケア	—	—	△
自治体	◎	—	○



2017以降		
日本	欧米 先進国	新興国
○	○	◎
◎	◎	○
△	—	◎

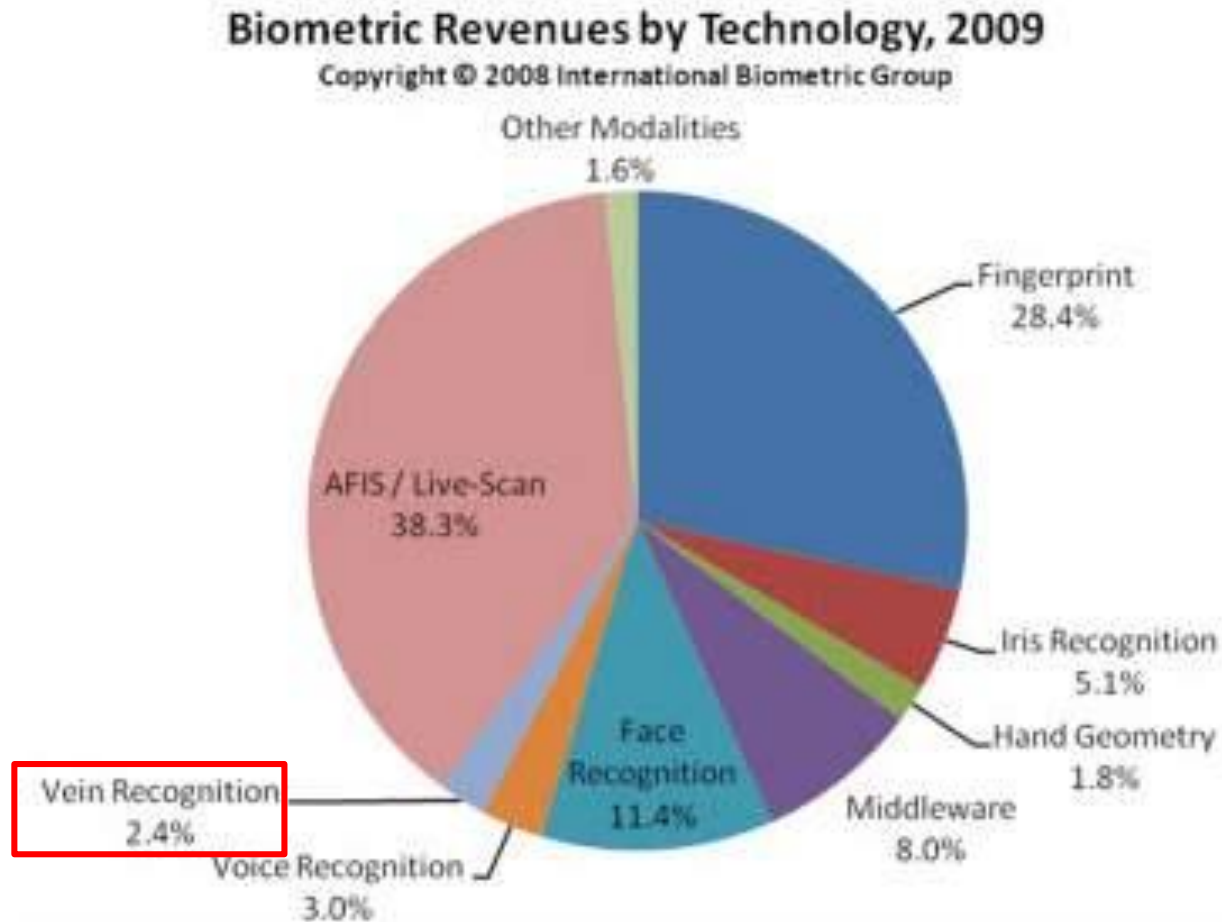
<独自性> 主要生体認証技術の比較: 静脈認証の優位性

* 赤字部分は弱点

- 指紋 – 犯罪捜査で活躍。指紋の摩耗や偽造の問題
- 虹彩 – 高い他人排除精度。 本人の健康状況の変化で認証されないことも。
- 顔 – 違和感少ない。眼鏡や顔の表情、加齢による変化などによって認識率が低下する。
また、一卵性双生児の場合に両者を同一人物と認識する可能性がある。
- DNA – 最も確実で究極的な生体認証の手段だが、体液等のサンプルの提出を必要とし、
現時点においては瞬時に相手を見極める装置は困難(最短で90分)。
一卵性双生児を識別できない欠点も有る。
- 静脈 – 近赤外光を手のひら、手の甲、指などに透過させて得られる静脈
パターンを用いる技術で、血液が流れてないと機能しないので成りすましが困難。

指紋が主流。 静脈認証はまだ隠れた「原石」。 速やかな地位確保が勝利の道。

Revenues by Technology



Source: Acuity Market Intelligence

1. 金融

ATM, 銀行内セキュリティ, Match-on-card

2. 医療

患者確認, 院内セキュリティ, 遠隔医療, 電子カルテ

3. IT Security

Cloud, SingleSignOn, Active Directory

4. Physical Security

入退出, 勤怠管理

5. 行政

国民ID登録

6. 教育 (BYOD, e-Learning)

7. アミューズメント (手ぶらで楽しむ)

mofiria

mobile oriented
fingerrvein
integrated
authentication

モバイル志向の統合化された指静脈認証

ソニー時代に開発した“小型志向”プロトタイプ

PC内蔵



USB unit



mofiria

Door Access (IC Card + mofiria)

Smart phone内蔵

